

ウイレスセブン（次亜塩素酸水）
製造元：一般社団法人環境技術普及機構

【概略】

当社（約 20 位前）から次亜塩素酸水（新衛生殺菌・除菌水生成装置）を業務用として発売。

食品産業に従事する人は、[次亜塩素酸水]は食品添加物の殺菌科。

次亜塩素酸水は、1800 年代の半ばから使用されてきた消毒剤。

塩素消毒の活性因子として知られている。次亜塩素酸水が使用され始めた当時は、塩素水と言う名称で産婦人科医の手術消毒に用いられ、その効果が初めて確認されたと言う歴史がある。

2014 年からインフルエンザ・ノロウイルス等流行した際、ウイレスセブンの名称にて一般市場に参入。

1. 化学式

次亜塩素酸水 HClO 、次亜塩素酸ナトリウム NaClO （ハイターなど）名前が似ていますが全くの別物

2. 次亜塩素酸水の種類 濃度と pH 値

電気分解（電解水） 30ppm～50ppm

非電解式（混和式） 100ppm～200ppm

※食品会社にてテスト：上 80ppm 以上 床 200ppm

※ウイルス不活化試験：ノロウイルス・インフルエンザ：100ppm 5 分後に検出せず。

食中毒抗菌力試験：黄色ブドウ球菌：100ppm 1 分後に検出せず。

3. 次亜塩素酸水は日本の技術。日本から海外に製造技術、製品の輸出

アメリカ・ロシア・イギリス・フランス・ドイツ・中国・台湾・韓国など

世界各国で新型コロナ感染対策に使われています。

4. 厚生労働省、新型コロナウイルス感染症対策推進本部 事務連

ついに次亜塩素酸水の空間噴霧に対する厚労省の見解が変更となりました。

令和 3 年 10 月 21 日付で、厚労省より別添の通達が出されてすでに自治体へも届いています。

厚労省から(都道府県)(保健所設置市)(特別区)に対していわゆる『次亜塩素酸水の空間噴霧』を認める内容の事務連絡が出ました。

※次亜塩素酸水の中には、極端に酸性によっているもの、極端に高い濃度のもの等々、広範囲にわたっていますので、適正範囲内の pH 値、適正範囲内の濃度等、その安全性情報や使用上の注意等ご確認の上、適切にご使用下さい。

※補足

経済産業省、NITE（独立行政法人製品評価技術基盤機構）による

次亜塩素酸水での新型コロナウイルスの有効性が発表されました。

『35ppm 以上の有効塩素濃度がある次亜塩素酸水（電解型、非電解型）』が新型コロナウイルスに対し、20 秒後に 99.99%以上の除菌効果を確認。

5. 厚生労働省/経済産業省/消費者庁

科学による正しい判断に基づき、意図的な誤報によって作成されたポスターは、

2021 年 11 月 30 日をもって全面差し替えられました。（別紙参照）

6. 2022 年 3 月 28 日に、国立感染研究所が新型コロナの空気感染を認める。

■とるべく正しい対策とは、

感染原因の分析が間違っているのだから対策も間違っている。

空気感染ならば「手洗い」や「アクリル板」ではなく、空気清浄と、

空気中のウイルスを除菌する空間消毒、次亜塩素酸水の空間噴霧が唯一の方法。

7. エタノール（アルコール）と次亜塩素酸水を用途に合わせご使用下さい。

■エタノール（アルコール）は、コロナ対策 70%以上 95%未満、消防法：（第四種アルコール）危険物に該当
通常は 35%～40%位が多い。エタノール（アルコール）は、常在細菌（良い菌）まで死滅→手荒れ。

※肌に優しい次亜塩素酸水は表面菌だけに作用し、常在細菌（良い菌）を死滅させない。→手荒れの心配はない。

■エタノール（アルコール）に耐性を持つウイルス（ノロウイルス）・細菌・ノロウイルスには細胞膜が無い（効果がない理由）。アルコールは、細胞膜を包み込んで飛ばすと言うメカニズム。

■次亜塩素酸水は、菌やウイルスの栄養素を直接攻撃し菌自体を死滅させていくメカニズム。